

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
 (系統性のある支援研究事業)  
 成果報告書 (概要版)

実施機関名 (三重県教育委員会)

1. テーマ

中学校から高等学校への支援情報の引継ぎについて、県教育委員会が作成した「中学校から高等学校への支援情報の引継ぎ試行実施要項」に基づく引継ぎの結果を検証し、引継ぎの取組を促進する。

2. 問題意識・提案背景

本県の県立高等学校には、発達障害の可能性のある生徒が 1.4%程度在籍していると推測され (平成 25 年 10 月 県教育委員会調べ)、校内の支援体制の整備や指導・支援の充実が課題となっている。

また、本県では平成 24 年度から情報引継ぎツールであるパーソナルカルテを活用した支援情報の引継ぎに取り組んでおり、県内の全ての市町 (29 市町) で活用されている。(このうち 12 市町では市町独自様式の情報引継ぎツールを活用している。) しかし、中学校から高等学校への支援情報の引継ぎにおいては十分に活用されていないという状況があった。

そこで、県教育委員会では平成 26 年度に「中学校から高等学校への支援情報の引継ぎ試行実施要項」を作成し、県立高等学校に入学する生徒について、市町教育委員会の協力を得て、県内全域において引継ぎの取組を試行的に実施した。

平成 26 年度の試行的な引継ぎの結果を検証し、引継ぎ方法の有効性と問題点を確認するとともに、市町教育委員会と連携して引継ぎの取組を促進する必要がある。

3. 指定校について

【前在籍校】

指定校名：四日市市立朝明中学校											
	第1学年			第2学年			第3学年				
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	222	8		217	6		249	7			
特別支援学級	生徒数16名 学級数3 知的障害1学級 (1年3名、2年2名、3年2名) 自閉症・情緒障害2学級 (1年4名、2年2名、3年3名)										
通級による指導 (対象者数)	対象者なし										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	2	36	1	4	1	2	2	1	1	51

指定校名：四日市市立保々中学校											
	第1学年			第2学年			第3学年				
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	90	3		82	3		82		3		
特別支援学級	生徒数2名 学級数1 自閉症・情緒障害1学級(1年1名、3年1名)										
通級による指導 (対象者数)	対象者なし										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	15	1	6	1	1	0	1	1	31

### 【後在籍校】

指定校名：県立北星高等学校										
学級数及び児童生徒数										
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		計
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
定時制	普通科	121	*	78		74		163		
	情報ビジネス科	0		39		41		32		
通言制	普通科	93		147		104		786		
教職員数										
校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	臨床心理士	スクールカウンセラー	その他	計
1	3	46	2	8	0	4	0	0	4	64

\* 定時制については昼間部（午前）9学級、昼間部（午後）9学級、夜間部9学級、合計27学級の編成である。（チューター制）

## 4. 指定校における取組概要

### ①目的・目標

県教育委員会では、平成26年度に「中学校から高等学校への支援情報の引継ぎ試行実施要項（以下、「実施要項」という。）」を作成し、平成27年度に県立高等学校に入学する生徒について、県内全域で実施要項に基づく引継ぎを行った。引継ぎの対象は、中学校の校内委員会において支援が必要と判断されており、かつ引継ぎについて保護者の同意が得られている生徒である。

実施要項では、中学校が高等学校毎に支援情報を引き継ぐ生徒の一覧表を作成し、個別の指導計画や個別の教育支援計画等を添えて高等学校へ持参して、手交によって引き継ぐこととしている。引継ぎの時期は、県立高等学校への入学が決定してから4月末までの間である。

県教育委員会は、上記の方法で引継ぎが行われた全ての中学校と高等学校へ広域学校間連携コーディネーター1名を派遣し、引継ぎの状況について聞き取りによる調査を行い、引継ぎにおける一覧表の有効性と問題点を確認することを目的とした。

また、平成26年度に多くの引継ぎを受けた県立北星高等学校に学校間連携コーディネーター1名を配置し、同校及び近隣に位置する四日市市立朝明中学校、四日市市

立保々中学校から引継ぎの具体事例についての聞き取りや、引継ぎ方法についての意見聴取を行い、引継ぎモデルを作成した。

②持続的な引継ぎシステムを指向した個別の教育支援計画等の作成方法等の研究

学校間連携コーディネーターが県立北星高等学校及びその周辺の県立高等学校を巡回し、特別な支援を必要とする生徒の実態の把握や心理検査の実施、生徒や本人との面談を行うとともに、在籍する高等学校における個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成について助言を行うことで、これらの計画の作成を進めた。

③進学前後における適切な引継ぎ内容及び時期等の研究

学校間連携コーディネーターが、高等学校進学前後における適切な引継ぎの時期について指定校から意見を聴取した。広域学校間連携コーディネーターが県内全域の中学校と高等学校から聞き取った情報も加味し、実施要項に定めている引継ぎ時期について、3月末までに期間を短縮することとした。

④児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引継ぎを実施する体制の整備評価手法

実施要項では、引き継ぐ情報を保護者に提示しながら引継ぎについての同意を得ることとしている。保護者の同意がある引継ぎ情報は、高等学校において保護者との連携にすぐに活用することができ、スムーズな支援の開始のために有効であることが分かった。

## 5. 主な成果

①中学校から高等学校への支援情報の引継ぎ実施要項の改定について

個別の指導計画等の支援情報と共に一覧表が残されていることで、いつ、誰が引継ぎを行ったかということや、保管されている情報が保護者と共有されていることがいつでも分かるという利点があった。

引継ぎの時期については、年度末の多忙さを考慮して4月末までとしていたが、中学校、高等学校のどちらからも、できれば3月末までに引継ぎを実施したいという意見が聞かれた。

以上を踏まえ、引継ぎにおいては一覧表を活用すること、原則として3月末までに引継ぎを行うことを要点として、実施要項の改定を行った。

②中学校から高等学校への支援情報の引継ぎモデルの作成

入学予定者全員について、入学前に出身中学校を訪問して連携を図っている高等学校があることから、引継ぎの場は高等学校に限らず、中学校への訪問の際に行うことも想定される。

また、中学校から高等学校へ支援情報を引き継ぐ際に、保護者がパーソナルカルテを活用しているという情報を高等学校に伝えることが重要であることが分かった。

以上を踏まえ、県内の全ての地域において参考とすることができる引継ぎモデルを作成した。

## 6. 今後の課題と対応

平成 26 年度に試行的に実施した支援情報の引継ぎにおいては、教員が実施要項について十分に理解しておらず、引継ぎが可能な生徒について適切に引継ぎが行われていない事例が見受けられた。引継ぎの方法を分かりやすく示した「中学校から高等学校への支援情報の引継ぎモデル」を活用し、引継ぎの方法について教員への理解啓発を図る。

保護者との合意形成に基づく支援が行われていない生徒については、中学校の教員が支援情報を引き継ぎたいと思っても、卒業の直前に提案して同意を得ることは困難である。引継ぎを促進するためには、できるだけ早期の段階で保護者との合意形成を図り、支援を開始するべきである。

本県では、公立小中学校に在籍する児童生徒の 1.9%についてパーソナルカルテ（市町独自の様式のものも含む。）が活用されている（平成 27 年 9 月 県教育委員会調べ）。特別支援学級だけでなく通常の学級に在籍している児童生徒にまで普及が進んでいる市町がある一方で、特別支援学級における普及率が低い市町もある。パーソナルカルテの普及が進めば、高等学校への引継ぎも進むと考えられる。また、パーソナルカルテは、高等学校においても就職や進学先への支援情報の引継ぎに役立つものであることから、一層の普及が必要である。

今後は、パーソナルカルテの一層の普及に取り組みながら、改定した実施要項に基づく引継ぎを促進する。

## 7. 問い合わせ先

組織名：三重県教育委員会

- |             |  |
|-------------|--|
| (1) 担当部署    | 特別支援教育課  |
| (2) 所在地     | 三重県津市広明町 13  |
| (3) 電話番号    | 059-224-2961   |
| (4) FAX 番号  | 059-224-3023   |
| (5) メールアドレス | <a href="mailto:shienkyo@pref.mie.jp">shienkyo@pref.mie.jp</a> |